

# 地域復興支援活動「南三陸サポートプロジェクト」 － 宮城県南三陸町の松原公園にあずまや 「レンドリーステラス」が竣工



2021年1月21日、宮城県本吉郡南三陸町の松原公園で、あずまや「レンドリーステラス」の竣工式が執り行われました。

式典には、南三陸町の佐藤仁町長を始め、これまで南三陸でのボランティア活動にご協力いただいた方々にご出席いただきました。当社代表取締役社長、アンドリュー・ガウチの挨拶の言葉から始まり、佐藤町長のお言葉、テープカット、お世話になった方々の表彰等、晴天の中、無事、

竣工式を終えることができました。

当社は東日本大震災発生直後から南三陸町で震災復興支援活動を継続的に行ってまいりました。震災から10年を迎えるにあたり、南三陸町の町民の皆さまと当社の絆の証として、松原公園にこの「レンドリーステラス」というあずまやを建設・寄贈致しました。レンドリース・ジャパンはこれからも、南三陸町の皆さまとの絆を大切にしていまいます。

## レンドリーステラスについて



敷地は震災で移転した松原公園内の陸上トラックと野球場に挟まれた三角地帯で、設計条件としてはスポーツ観戦の際に日除けとなるあずまやを建てることでした。デザインコンセプトは、①南三陸町のシンボルとしてのあずまや、②多目的に利用出来ること、③回廊型、そして④展望デッキをもたせることの4つを念頭におきました。日除けとしてだけでなく、マルシェを開催したり、屋外展示会場として利用したり、さまざまなイベントで、町の皆さまに憩いの場を提供できればという想いを込めた施設です。

## 南三陸サポートプロジェクトについて

2011年3月、東日本大震災発生直後、南三陸町へ救助隊を派遣するなど、さまざまな支援活動を行ったオーストラリア政府を後方支援するため、当社代表取締役社長であるアンドリュー・ガウチは大使館職員と共に南三陸入りしました。以降当社は、震災復興支援としてオーストラリア・ニュージーランド銀行が南三陸町に寄贈したオーストラリア友好学習館（通称コアラ館）の建設時に、オーストラリアのデザイン要素についてアイデアを提供するなど、計画実現に協力しました。竣工後も、コアラ館前の花壇に定期的に花を植えるなどの支援を行いました。

このような南三陸町とのご縁から、この「南三陸サポートプロジェクト」を2013年の春に開始し、3～4か月に一度の頻度で、延べ600名以上の社員やその家族、関係者が南三陸町を訪れ、コアラ館の花壇のメンテナンス、仮設住宅内の農園作業のお手伝い、仮設住宅の住民との交流「お茶っこ」を始めとするさまざまなボランティア活動を行ってきました。

被災された地域の方々をさまざまなボランティア活動でサポートするだけでなく、実際に現地を訪れ、被害にあわれた方々から話を聞き、震災や街の復興について知ること、そして家族や友人・同僚に伝えることで、風化を防ぎ支援の輪を広げることを目的としています。